

研究支援部会

著者	柿川 房子, 藤田 尚
雑誌名	看護研究交流センター年報
巻	17
発行年	2006-07
URL	http://hdl.handle.net/10631/326

研究支援部会

部会長 柿川房子教授
副部会長 藤田 尚助教授

1) 研究の実施

(1) センター地域課題研究

地域課題研究の募集・審査・研究費費目調整等をおこないます。応募に基づく研究計画の採用の他、政策的な研究計画について研究者（研究グループ）を指名した委託研究の採用も検討します。本部会は、これらの事業にともなう業務を担当します。

センターが地域の保健医療福祉の健康関連施策と深く密着してスケールの大きな研究活動を展開するために研究計画を新たに設定する方策として、(1) 各プロジェクトに研究者が自由に行動目標を設定して応募することを推奨すること、(2) 複数年度の研究計画も審査対象とすること、(3) 前年度において十分な研究計画の策定検討を行い実現可能な計画を計上すること、(4) 応募研究計画の基本構想の質的な内容評価に力点をのこした審査をおこなうこと、等を取り入れております。

(2) 中間研究検討会

研究進行の確認について、総務部会と協力して年度の中途（開始後6ヶ月以降）の時点で、研究手法等の再検討のための発表会をおこないます（中間研究検討会）。年度完了後の年報発行（総務部会担当）によって成果を公表します。大学は妥当な業績評価システムを導入することが求められていますが、本センターでは、研究計画策定段階から前述の方法を定着し自己責任の認識を深めるようにしたいと考えております。

(3) 他機関、他施設との共同研究

センターが組織として関わりをもった共同研究に関しては、業務分担することは当然であり、本部会の管掌事項となります。研究者が自らの努力で獲得した外部研究費に関連するものは、センターの関与するところではありませんが、大学施設を利用したり、研究者から人的な補助を求められた場合は、その内容を検討し、運営会議にてその適否を審議することになります。

2) 研究支援

(1) 科学研究費補助金

科学研究費補助金に関する情報提供、書類作成支援をおこないます。科学研究費補助金に関する情報提供は、本部会の管掌事項とします。ただし書類作成支援に関しての助言者は、研究者自身の同意のもとにセンター長を含む少数のエキスパートに限定することとしております。

(2) その他の外部研究資金

その他の外部研究資金に関する情報提供は、本部会の管掌事項となっています。

センター地域課題研究費の年次別推移

	応募件数	採択件数	委託研究	配分研究費総額 (単位：万円)
平成14年度	14	14		662
平成15年度	16	16		778
平成16年度	10	9		521
平成17年度	10	9		617
平成18年度	(未定)	(未定)		467